



## 北海道の魅力を次世代へと継承していくため、持続可能な社会の実現を目指して

私たち北海道コカ・コーラグループは、北海道に生まれ、北海道の皆さんに育てられてきた「どさんこ企業」です。

1963年の創業以来、私たちが果たすべき役割は、私たちの事業を通して、地域や生活者の皆さまの課題解決に貢献していくことであると考え活動しています。

3年前に発生した新型コロナウイルスの感染拡大は、収まるどころか今やコロナウイルスとの共存が社会の前提となり、人々の生活様式や働き方、価値観が変わりました。また、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、そしてそれに伴う原材料資材費・エネルギー費の高騰、為替の見通しも不透明と、これまで経験したことのない変化が起きています。

このように企業として対応の先送りが許されない中長期の課題が増えている中で、我々は「企業活動は数値目標を追う経済価値だけでなく、社会価値の創出も重視され、地域社会の持続性に貢献することが使命である」という考えを再認識しています。

私たちは、長い歴史の中で培ってきた地域密着力とグループ総合力を強みに、変化する環境に柔軟に対応し、さまざまな社会課題に多様な角度から挑戦することで、より良い社会へ向かう好循環に寄与できると信じています。

今年、当社は60周年の節目の年を迎えます。これから先の未来も「北の大地とともに」をスローガンに、地域密着のどさんこ企業として、この素晴らしい北海道の魅力を次世代へと継承していくため、持続可能な社会の実現を目指し、活動を継続してまいります。

代表取締役社長

**佐々木 康行**